

3時間で学ぶ！

電子機器における

防水設計の基礎と設計手法【LIVE配信】

- ◆日時: 2022年2月7日(月)13:00~16:00
- ◆会場: 自宅や職場など世界中どこでも受講可
- ◆聴講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

⇒1名につき33,000円(税込、資料付き)

2名同時申し込みの場合、1名につき22,000円(税込)

講師からの紹介割引について

本パンフレットは講師用のパンフレットです。このパンフレットでセミナーをお申込みいただくと、講師からのご紹介により左記のとおり受講料が割引になります。なお他の割引との併用はできません。

●講師: 神上コーポレーション 株式会社 代表取締役 鈴木 崇司 氏

【プログラム】※内容を省略して掲載しております。詳細はHPでご確認ください。

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 会社紹介 電子機器と防水規格 <ul style="list-style-type: none"> 2-1. 電子機器と防水性 2-2. 防水規格(防塵規格)とは 防水設計のポイント <ul style="list-style-type: none"> 3-1. 防水機能付加方法の分類 3-2. 製品コストコントロール 3-3. デザイン制約 3-4. 筐体剛性の課題 3-5. 密閉筐体による放熱特性の低下 | <ol style="list-style-type: none"> 部品別の防水設計 <ul style="list-style-type: none"> 4-1(1). ケースの防水設計:防水構造の基本、インサート成形など 4-1(2). Oリング、ゴムパッキン(ガスケット)設計 4-1(3). 各部両面テープによる防水設計 4-1(4). ネジの防水設計 <p>防水による各部の設計差分</p> <ul style="list-style-type: none"> 4-2(1). 表示部・操作部の防水設計 4-2(2). 音響部の防水設計 4-2(3). コネクタ/外部インターフェイスの防水設計 4-2(4). 基板防水 4-2(5). 防水筐体の放熱設計 防水機能の評価 <ul style="list-style-type: none"> 5-1. 防水試験、評価の進め方 5-2. 原因解明と対策実施 防水機器の開発プロセス <ul style="list-style-type: none"> 6-1. 開発・設計手法(CAE活用など) 6-2. 設計基準の策定 |
|--|--|

【質疑応答】

【LIVE配信セミナーとは?】

- ・本セミナーは「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Web ブラウザから参加するかの2種類がございます。ZOOM WEBセミナーのはじめかた (<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>) をご覧ください。
- ・お申込み後、受理のご連絡メールをさせていただきます。一部メールが通常セミナー形式(受講券、請求書、会場の地図)になっておりますが、LIVE配信のみのセミナーです。
- ・お申込み後、接続テスト用のURL (<https://zoom.us/test>) から「ミーティングテストに参加」を押していただき動作確認をお願いします。
- ・後日、別途視聴用のURLをメールにてご連絡申し上げます。セミナー開催日時の10分前に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。
- ・セミナー資料は前日までには、お送りいたします。タブレットやスマートフォンでも視聴できます。

(講師紹介割引)『防水設計【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申し込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>